

ミッション概要資料

大阪府立茨木工科高等学校

SST. R&D

2年 松尾、坂本

SST. R&D (スペースサイエンステクノロジー リサーチ&デベロップメント)

私たちは、今までの大会で、缶サットを完璧に稼働させることができませんでした。そのため、今回は以下の目的を考えました。

目的 確実性の追求

これまで私たちが作ってきた缶サットはどれも大会でのミッション成功率が低かったそこで、成功率が確実とまで言える程の缶サットを作りたいと思った

課題 (ミッション)

1. 手順書とチェックリスト。
2. 繰り返し実験。
3. トラブルへの対処を考えておく。

1つ目の、手順書とチェックリストについてです。

これは、去年も行なった取り組みですが今年は確実性を上げるために、今年も行なおうという事になりました。

2つ目の、繰り返し実験についてです。

これは、繰り返し実験を行うことでデータの平均値を算出することができ、本番のデータが平均とどの位差があるか求めることができます。

3つ目のトラブルへの対処についてです。

これは、万が一打ち上げ直前にトラブルが起こったとしても、迅速に対処して安全に打ち上げを行えるようにするためです。

構造

全備重量：230g 高さ：90mm 直径：67mm

期待される成果

- 1, ロケットに搭載したロガーによるデータの取得
- 2, 去年よりも確実性の上ったデータの取得
- 3, より安定したパラシュートによる降下

全国大会に向けて

全国に出たら、以前取り組んでいたデータの共有化、
音声合成による地上局のアナウンスを行いたいと思っています。